

対象者の皆さん、受診はされましたか？

歯周病検診は なぜ重要なのか!?



歯周病とは…

細菌の感染によって引き起こされる炎症性疾患です。お口の中にはおよそ 300 ~ 500 種類の細菌が存在しますが、日々の良くない生活習慣によってできた歯垢（プラーク）の中の細菌によって歯肉に炎症を引き起こし、やがては歯を支えている骨を溶かしていく病気です。

近年では、歯周病と全身疾患の密接な関係が明らかにされてきました。歯周病菌は腫れた歯肉から容易に血管内に進入し全身に回ることによって内毒素を撒き散らし、様々な疾患を引き起こします。



全身の健康のためには細菌の通り道であるお口の中をきれいにし、
歯周病を治療・予防することが大切です！

歯周病と関わりのある全身疾患

ごきんぱい
誤嚥性肺炎：本来は食道を経て胃に運ばれる唾液や食物が何らかの理由で誤って気管に入ってしまう、同じように歯周病の細菌が肺に入り込むことで引き起こされる肺炎です。



肺の病気に

低体重性早産：口の中の歯周病細菌が血中に入り胎盤を通して胎児に直接感染するのではないかとされています。その危険率は実に7倍にも上るといわれ、タバコやアルコール、高齢出産等よりもはるかに高い数字です。



低体重児出産に

動脈硬化・心臓疾患：歯周病原菌の内毒素が血流に乗って血管内で動脈硬化を引き起こす原因となるとされており、それにより心臓疾患を引き起こすとも言われています。



血管の病気に



心臓の病気に

糖尿病：歯周病との関係は特に密接で、相互に悪影響を及ぼしあっていると考えられるようになってきました。逆に歯周病治療で糖尿病も改善されることも分かっています。



糖尿病に

共済組合の取り組み

平成 23 年度から歯周病検診を実施し、上記の全身疾患にならないためにも歯周病の予防・早期治療を呼びかけています。今年度の対象者は平成 26 年度中に 20 歳・25 歳・30 歳・35 歳・40 歳・45 歳・50 歳・55 歳・60 歳に到達される組合員で、所属所を通じて既に歯周病検診受診券を配布しています。対象者の皆さん、是非この機会を逃さずに受診されることをお勧めします！